平成30年度練習試合	2018年03月30日	矢掛高校 VS	総社高校
	4010 T 00 /1 00 H		NOTA IDITA

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
総社	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
矢 掛	1	4	0	0	0	1	0	2	×	8

矢: 森上 一 小池、真砂

文責:春名 野々花(普通科探究コース)

@総社球場

矢掛高校の先発は、2年生右腕の森上(総社西中)

- 1回表、総社高校の攻撃。先頭打者を失策で出塁させ、犠打も決められるが、後続を抑え無失点の立ち上がり。
- 1回裏、矢掛高校の攻撃。二死から小川(真備中)が四球で出塁し、真砂(木之子中)の左前打と、赤木(小北中)の死球で満塁とする。続く森上の打球が失策となり、幸先よく1点を先制する。
- 2回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の小池(総社西中)が内野安打を放ち出塁する。一死から四者連続四球と暴投で 2点を追加する。続く赤木の打球が失策となり、さらに2点を追加し、リードは5点に。二死から、佐 藤孝太(木之子中)が左前打を放ち、チャンスを広げるが、最後は三振でこの回を終える。
- 3回表、総社高校の攻撃。先頭打者に右前打を放たれる。進塁打で一死二塁とされ左前打で、一・三塁のピンチを背負う。ここで悪送球の間に1点を奪われる。続くピンチは連続飛球で抑えるが、リードは4点に。
- 3回裏、矢掛高校の攻撃。相手投手が交代する。代わった投手から中村(矢掛中)が四球を選び出塁する。一死 から大山(小北中)が中前打を放ちチャンスを広げるが、追加点を奪えない。
- 4回表、総社高校の攻撃。一死から左前打と四球で一・二塁とされるが、併殺でピンチを脱する。
- 4回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の真砂が四球で出塁するも、牽制死。
- 6回裏、矢掛高校の攻撃。一死から大山が死球により出塁し、盗塁で一死二塁とする。さらに三盗を試み、送球がそれる間に本塁に生還し、1点を追加する。
- 7回裏、矢掛高校の攻撃。二死から佐藤孝太が四球により出塁し、盗塁を決めるも後続が途絶える。
- 8回表、総社高校の攻撃。この回も三者凡退とし、森上はここまで13連続アウトと安定感を見せる。
- 8回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の中村が中前打を放ち、一死から大山が相手の失策を誘い二・三塁とする。二死 から真砂が左前打を放ち、2点を追加する。
- 9回表、総社高校の攻撃。二死から内野安打を放たれるも、次打者を投ゴロに抑え、ここで試合終了。

矢掛高校は総社高校に8-1で勝利した。今回の試合では守備面で小さなミスが目立ち、失点にもつながってしまったので、落ち着いてプレーをすることができるようにしたい。また、打撃面では相手の四球や失策によって出塁することが多かったので、自らチャンスを作れるよう、効果的な打球を放てるように練習していきたい。

今シーズンの勝敗

1 0 勝 1 取 3 分